

公益財団法人MSD生命科学財団

令和7年度 事業報告書

令和7年4月1日 から 令和8年3月31日 まで

I. 概況

当財団は、旧万有製薬株式会社（現MSD株式会社）のCSR活動をより継続的・発展的に運営するために平成14年に設立されました。生命科学の研究の推奨及び助成とともに、国際交流を担うべき人材の育成に関する事業として、研究者への研究サポート、研究者育成に繋がるシンポジウムの開催等を行っております。（平成23年4月に公益財団法人の認定取得、平成28年10月に財団名称を変更）

令和7年度は、引き続き医学分野では4領域の研究助成を実施し、有機化学分野ではシンポジウム等の支援活動を行ってまいりました。具体的な事業活動は、次のとおりです。

一方、MSD株式会社からの寄付終了に伴う事業活動見直しの結果、医学分野の研究助成事業は令和7年度をもって募集を終了し、有機化学分野事業は令和8年3月1日に公益社団法人日本化学会へ譲渡いたしました。また、法人格の扱いについては、令和8年3月6日付にて一般財団法人LeaP科学財団と当財団を存続法人とする合併契約を締結いたしました。今後は生命化学・生命科学への研究助成事業を実施していく予定です。

II. 事業活動報告

1. 医学分野 研究助成

（当事業は「助成(応募型)」並びに「表彰、コンクール」の両事業区分に該当する）

【目的】

これまでのプログラムを継続し、日本国民の死因トップ3に着目した「がん領域」「生活習慣病領域」「感染症領域」「呼吸器・アレルギー領域」に対する研究助成を行う。加えて、研究者のライフイベント（出産・育児・介護）を配慮し、研究の継続を支援する。

➤ **がん領域 … 令和7年度をもって募集終了**

1) 概要： がん治療についてはこれまでに数多くの研究成果が上がっているものの、依然としてがんは我が国の死亡原因の第一位であることからより豊かな発想とそれを実現化させる熱意を持ち、がん研究を行う研究者に対して助成を行う。

【若手研究者】

がん治療の進歩・発展に貢献できる次世代を担う若手研究者の育成を目的とし医学系の幅広い研究を対象とする。さらに、発展的かつ優秀な研究成果を収めた研究者に「医学奨励賞」として表彰と追加助成を行う。

- 2) 研究課題： 医学系におけるがんに関する独創的な基礎研究または臨床研究
- 3) 募集対象： **【若手研究者】**
- 国内の大学、研究機関及び医療機関いずれかに所属している医学研究者で科研費の応募資格がある者
 - 満40歳以下の者（M.D.は満42歳以下）
- 4) 公募期間： **【若手研究者】**
- 令和7年4月1日～6月23日
- <医学奨励賞（追加助成）>**
- 令和7年4月1日～6月23日
- 5) 選考： **【若手研究者】**
- 令和7年7月～9月：選考委員による応募書類審査を実施し、プレゼンテーション審査の候補者を選出した。
 - 令和7年11月：プレゼンテーション審査（オンライン選考会）を実施し、候補者より口演発表された研究計画について選考委員による審査が行われ、令和7年度【若手研究者】交付者13名を決定した。
- <医学奨励賞（追加助成）>**
- 令和7年7月～9月：令和5年度【若手研究者】交付者から提出された2年間の研究成果報告書について選考委員による書類審査を実施し、プレゼンテーション審査の候補者を選出した。
 - 令和7年11月：プレゼンテーション審査（オンライン選考会）を実施し、候補者より口演発表された研究成果について選考委員による審査が行われ、最優秀賞1名及び優秀賞2名を決定した。
- 6) 交付実績： 令和7年度は、総額5,900万円を交付した。
- 【若手研究者】**
- 令和6年度交付者10名に2年目助成金（各150万円）を交付
 - 令和7年度交付者13名に助成金（各300万円）を交付
- <医学奨励賞（追加助成）>**
- 令和5年度【若手研究者】交付者から再評価した最優秀賞1名に追加助成金300万円を交付
 - 令和5年度【若手研究者】交付者から再評価した優秀賞2名に追加助成金各100万円を交付
- 7) 情報公開： 令和7年度の交付者／医学奨励賞受賞者の情報及び令和5年度交付者から提出された2年間の研究成果報告書を、財団ホームページに公開した。

➤ **生活習慣病領域 …… 令和 7 年度をもって募集終了**

1) 概要：生活習慣病関連の基礎・臨床研究分野における若手研究者の独創性を喚起し、優秀な人材を育成することを目的とする。

【若手研究者】

生活習慣病における治療の進歩・発展に貢献できる次世代を担う若手研究者の育成を目的とし、医学系の研究を対象とする。さらに、発展的かつ優秀な研究成果を収めた研究者に「万有医学奨励賞」として表彰と追加助成を行う。

2) 研究課題：生活習慣病領域の疾病の原因解明と新たな治療法の開発

- 循環器分野（血管障害を含む）
- 糖尿病/代謝分野（糖尿病性腎臓病・脂質代謝を含む）

3) 募集対象：**【若手研究者】**

- 国内の大学、研究機関及び医療機関いずれかに所属し、基礎研究または臨床への応用研究に意欲的に取り組んでいる研究者
- 満40歳以下の者（M.D.は満42歳以下）
- 日本循環器学会、日本高血圧学会、日本動脈硬化学会、日本糖尿病学会、日本腎臓学会 いずれかの会員であること

4) 公募期間：**【若手研究者】**

- 令和 7 年 4 月 1 日～6 月 23 日
- <第14回万有医学奨励賞（追加助成）>
- 令和 7 年 4 月 1 日～10 月 2 日

5) 選考：**【若手研究者】**

- 令和 7 年 11 月：選考委員による応募書類審査を実施後、2 分野（循環器分野、糖尿病/代謝分野）で選考委員会（オンライン）を開催し、令和 7 年度【若手研究者】交付者 18 名を決定した。

<第 14 回万有医学奨励賞（追加助成）>

- 令和 7 年 11 月：各分野にてプレゼンテーション審査（オンライン選考会）を実施し、令和 5 年度【若手研究者】交付者より口演発表された 2 年間の研究成果について選考委員による審査が行われ、各分野最優秀賞 1 名及び優秀賞 1 名を決定した。

6) 交付実績：令和 7 年度は、総額 5,700 万円を交付した。

【若手研究者】

- 令和 6 年度交付者 15 名に 2 年目助成金（各 100 万円）を交付
- 令和 7 年度交付者 18 名に助成金（各 200 万円）を交付

<第 14 回万有医学奨励賞（追加助成）>

- 令和 5 年度【若手研究者】交付者から再評価した最優秀賞 2 名（循環器分野 1 名、

糖尿病/代謝分野1名)に追加助成金200万円を交付

- 令和5年度【若手研究者】交付者から再評価した優秀賞2名(循環器分野1名、糖尿病/代謝分野1名)に追加助成金各100万円を交付

7) 情報公開： 令和7年度の交付者/万有医学奨励賞受賞者の情報及び令和5年度交付者から提出された2年間の研究成果報告書を、財団ホームページに公開した。

➤ 感染症領域・・・令和7年度をもって募集終了、最終の研究成果報告会を実施

1) 概要： 感染症の診断・治療・予防について、これまでに数多くの研究成果が上がっているものの、一方で新型コロナウイルスの発現など感染症は依然として人類にとって深刻な脅威であることから、より豊かな発想とそれを実現化させる熱意を持ち感染症にフォーカスした研究を行う研究者に対して助成を行う。

【若手研究者】

感染症治療の進歩・発展に貢献できる次世代を担う若手研究者の育成を目的とし、医学系の研究を対象とする。さらに、発展的かつ優秀な研究成果を収めた研究者に「医学奨励賞」として表彰と追加助成を行う。

2) 研究課題： 医学系における感染症の独創的な基礎研究、臨床研究または疫学研究

3) 募集対象： **【若手研究者】**

- 国内の大学、研究機関及び医療機関いずれかに所属している医学研究者
- 満40歳以下の者(M.D.は満42歳以下)

4) 公募期間： **【若手研究者】**

- 令和7年4月1日～6月23日

<医学奨励賞(追加助成)>

- 令和7年4月1日～10月2日

5) 選考： **【若手研究者】**

- 令和7年6月～8月：選考委員による応募書類審査を実施し、プレゼンテーション審査の候補者を選出した。
- 令和7年12月：プレゼンテーション審査(オンライン選考会)を実施し、候補者より口演発表された研究計画について選考委員による審査が行われ、令和7年度【若手研究者】交付者8名を決定した。

<医学奨励賞(追加助成)>

- 令和7年12月：プレゼンテーション審査(オンライン選考会)を実施し、令和5年度【若手研究者】交付者より口演発表された2年間の研究成果について選考委員による

審査が行われ、最優秀賞 1 名及び優秀賞 1 名を決定した。

6) 交付実績： 令和 7 年度は、総額 2,600 万円を交付した。

【若手研究者】

- 令和 6 年度交付者 7 名に 2 年目助成金（各 100 万円）を交付
- 令和 7 年度交付者 8 名に助成金（各 200 万円）を交付

<医学奨励賞（追加助成）>

- 令和 5 年度【若手研究者】交付者から再評価した最優秀賞 1 名に追加助成金 200 万円を交付
- 令和 5 年度【若手研究者】交付者から再評価した優秀賞 1 名に追加助成金 100 万円を交付

7) 情報公開： 令和 7 年度の交付者／医学奨励賞受賞者の情報及び令和 5 年度交付者から提出された 2 年間の研究成果報告書を、財団ホームページに公開した。

8) 成果報告： 令和 8 年 3 月：ステーションコンファレンス東京にて、選考委員及びこれまでの交付者が参加し研究成果報告会（口頭発表・ポスター発表）を実施した。

➤ 呼吸器・アレルギー領域・・・令和 5 年度をもって募集終了、最終の研究成果報告会を実施

1) 概要： 呼吸器・アレルギー疾患の成因、治療あるいは予防については、これまでに数多くの研究成果が上がっているものの、これらの研究が継続、発展することは国民のヘルスケアを推進する上で極めて重要なことと考え、より豊かな発想とそれを実現化させる熱意を持ち呼吸器・アレルギー領域の研究を行う研究者に対して助成を行う。さらに、発展的かつ優秀な研究成果を収めた研究者に「医学奨励賞」として表彰と追加助成を行う。

【若手研究者】

呼吸器・アレルギー疾患の治療の進歩・発展に貢献できる次世代を担う若手研究者の育成を目的とし、医学系の研究を対象とする。

2) 研究課題： 医学系における呼吸器・アレルギー疾患に関する独創的な基礎研究または臨床研究

3) 助成対象： **【若手研究者】**

- 国内の大学、研究機関及び医療機関いずれかに所属している医学研究者
- 満 40 歳以下の者（M.D. は満 42 歳以下）
- 日本呼吸器学会、日本アレルギー学会、日本小児アレルギー学会のいずれかの会員であること

4) 交付実績： 令和 7 年度の助成金交付はなし。

5) 情報公開： 令和 5 年度交付者から提出された 2 年間の研究成果報告書を、財団ホームページに公開

した。

- 6) 成果報告： 令和 8 年 1 月：ステーションコンファレンス東京にて、選考委員及び令和 4 年度以降の交付者並びに歴代医学奨励賞受賞者が参加し研究成果報告会（口頭発表）を実施した。

2. 有機化学分野

2-1 シンポジウム（学術講演会の開催並びに助成）

（当事業は「講座、セミナー、育成」の事業区分に該当する）

- 大津会議 … 平成 22 年度より継続
- その他シンポジウム … 設立当初より継続

1) 概要： 講演会の開催並びに助成により、農学、薬学、工学、理学など関連学部の学生並びに若手研究者の育成と学術知識の普及を図る。

2) 対象： 大学及び大学院の学生他

3) 活動内容： ● 3 地区（福岡、仙台、札幌）シンポジウム

- ・ 令和 7 年 5 月～ 7 月： 3 地区の学術講演会を開催した。（仙台、札幌：対面及びオンラインのハイブリット形式、福岡：対面形式）約 1,100 人（うちオンライン 126 人）が参加し学生からの質問が活発に行われた。

● 大津会議

- ・ 令和 7 年 9 月： 第 16 回大津会議を対面形式で開催し、全国から選抜された 13 名の若手研究者の討論・交流を行った。

● 名古屋メダルセミナー

- ・ 令和 8 年 1 月： ゴールドメダル・シルバーメダル受賞者の受賞講演と授賞式が名古屋大学にて対面形式で開催された。

● その他

- ・ 令和 8 年 1 月： 「万有シンポジウム連絡協議会」（有機合成化学研究の第一人者 6 名で構成）を開催し、これまでの有機化学分野への支援活動の総括と事業譲渡に関する報告を行った。

2-2 Chemist Award BCA & Lectureship Award MBLA

（当事業は「助成(応募型)」並びに「表彰、コンクール」の両事業区分に該当する）

- Lectureship Award MBLA … 平成 16 年度より継続
- Chemist Award BCA … 平成 21 年度より継続

- 1) 概要： 優秀な研究者を選出し、研究交流の機会を与えることにより有機合成化学分野の学術振興に貢献する。
- 2) 募集対象： 有機合成化学及びその関連分野 満 40 歳未満の研究者
- 3) 助成内容： 優秀な若手研究者を「Lectureship Award MBLA」1 名、「Chemist Award BCA」5 名程度選出し、表彰する。
「Lectureship Award MBLA」受賞者へは、海外（欧米）の一流研究機関を巡る講演ツアーを助成し、当財団の関連シンポジウムにおいても講演機会を与える。
- 4) 公募期間： 令和 7 年 6 月 1 日～8 月 20 日
- 5) 活動内容：
 - 令和 7 年 7 月：「第 37 回万有札幌シンポジウム」にて、「Lectureship Award MBLA 2024」受賞者の受賞講演並びに授賞式を行った。
 - 令和 7 年 9 月：選考委員による書類選考により「Chemist Award BCA 2025」4 名を決定し、受賞者を財団ホームページに公開した。
 - 令和 7 年 10 月：令和 6 年受賞者の海外講演ツアーを実施し、有機合成化学協会誌に報告・紀行文を投稿した。
 - 令和 7 年 11 月：MBLA 選考会（英語によるプレゼンテーション審査）を開催し、候補者から口演発表された内容について選考委員による審査が行われ、「Lectureship Award MBLA 2025」受賞者を決定した。受賞者は財団ホームページに公開した。

2-3 KYOTO Rising-Star Lectureship Award … 令和 2 年度より継続

（当事業は「助成(応募型)」並びに「表彰、コンクール」の両事業区分に該当する）

- 1) 概要： 海外の優秀な若手研究者を選出・表彰し、日本の若手研究者との交流の機会を与えることにより国内外の若手研究者の啓発と育成を含め有機化学分野の学術振興に貢献する。
- 2) 募集対象： 有機化学及びその関連分野 満 38 歳以下の研究者
- 3) 公募期間： 令和 7 年 3 月 1 日～4 月 10 日
- 4) 助成内容： 海外の優秀な若手研究者を 2 名選出・表彰するとともに、日本で一流研究機関等を巡る講演ツアーを助成する。
- 5) 活動内容：
 - 令和 7 年 4 月～6 月：選考委員による応募書類審査を実施後、選考委員会を開催し、「KYOTO Rising-Star Lectureship Award 2025」受賞者 2 名を決定した。受賞者は財団ホームページに公開した。
 - 令和 7 年 11 月：令和 7 年度受賞者 2 名の来日講演ツアーが実施され、授賞式及び講演が京都大学、大阪大学、名古屋大学、東京大学、東京科学大学にて行われた。

2-4 有機化学分野の事業並びに財産の譲渡

令和 8 年 3 月 1 日に公益社団法人日本化学会へ有機化学分野のすべての事業と財産 3 億円

(3月25日付振込)の譲渡を実施した。

III. 管理業務報告

【活動内容】

1. 出捐会社からの寄付終了に伴う中期事業計画（事業譲渡・法人格の扱い）について関係各所との協議を行った。（法人格の扱いについては協議継続中）
2. 令和7年5月9日付にて公益社団法人日本化学会との間で、有機化学分野事業に係る事業譲渡契約（譲渡日：令和8年3月1日）を締結した。
3. 令和7年5月31日理事会にて令和6年度事業報告及び決算等が承認され、6月17日評議員会において決算書類が承認された。また、同月26日、内閣府に対して定期提出書類を提出した。
4. 令和8年2月16日に内閣府に対して事業譲渡に伴う変更届出を提出した。
5. 令和8年2月21日理事会にて、一般財団法人 LeaP 科学財団との合併契約締結並びに令和8年度事業計画及び収支予算等が承認された。
6. 令和8年3月5日評議員会にて、令和8年6月16日開催予定の定時評議員会終結の時をもって就任する理事5名、監事1名、評議員4名が選任された。
7. 令和8年3月6日付にて一般財団法人 LeaP 科学財団との間で、当財団を存続法人とする合併契約（合併効力発生日：令和8年7月1日）を締結した。
8. 令和8年3月16日に内閣府に対して令和8年度事業計画・予算書類に関する定期提出書類を提出した。

【運営体制の充実を図るための取り組み】

令和8年3月5日評議員会にて選任された新理事・評議員に対して、令和8年1月から2月に個別事前面談を実施し、内閣府作成の「公益法人の各機関の役割と責任」を使用し、公益財団の理事・監事・評議員の役割や責務を説明するとともに、当財団定款に定められた理事会並びに評議員会の役割について説明を実施した。

※ 本報告書における実績額及び予算額は、人件費・固定費等の共通経費並びに管理費を除く。

以上

事業報告の附属明細書

特に記載すべき事項はありません。